

大項目		中項目		小項目		回答
1	基本仕様	1	電子カルテシステム/オーダーリングシステムとの連携	1	組織診/細胞診/剖検に関する検査指示情報、患者属性情報を電子カルテシステムまたはオーダーリングシステムから取り込みができること	
1		1		2	組織診/細胞診/剖検に関する検査指示情報に対する到着確認及び結果情報を電子カルテシステムまたはオーダーリングシステムへ送信ができること	
1		1		3	バーコード読み込みによる到着確認ができること	
1		1		4	電子カルテシステムまたはオーダーリングシステムから病理Web結果を参照する連携ができること	
1		1		5	病理Web結果参照で患者の既往歴検索（部門、採取日、科、病棟、提出医等）ができること。また、既往歴から各検体の結果詳細参照ができること	
1		1		6	病理Web結果詳細で表示する割り当て画像の表示/非表示選択ができること。また、画像毎にコメントを設定し表示ができること	
1		2	組織診/細胞診/剖検 情報一覧	1	組織診/細胞診/剖検に関する情報一覧表示ができること	
1		2		2	情報一覧は色により進捗状況判別ができること	
1		2		3	ログインしている職種により情報一覧をクリックすることで自動的に起動する業務を指定及び変更ができること	
1		2		4	受付番号、患者番号、患者カナ氏名、依頼科で検索ができること	
1		2		5	各検体毎に病理Web結果の参照履歴が表示できること	
1		3	依頼入力	1	依頼データの入力・訂正・削除処理ができること	
1		3		2	細胞診として一般、婦人科を含めた依頼データ管理ができること	
1		3		3	細胞診の一般、婦人科を別々の依頼データとして管理ができること	
1		3		4	剖検の依頼データ管理ができること	
1		3		5	受付番号は年管理・月管理・日管理・永久通番管理のいずれかで管理ができること	
1		3		6	依頼データ登録後、次受付番号へ自動遷移ができること	
1		3		7	属性情報表示ができること。また、登録及び訂正ができること	
1		3		8	即座に履歴情報表示ができること。また、件数表示ができること	
1		3		9	いずれかの外部システム（医事システム/電子カルテシステム/オーダーリングシステム/検査システム）から患者属性情報（氏名、性別、生年月日など）を自動及び手動取り込みができること	
1		3		10	前受付番号/次受付番号へはワンクリックで移動及び表示ができること	
1		3		11	採取部位、採取方法、特殊染色名の登録及び変更ができること。また、採取部位毎に特殊染色名を設定でき自動展開ができること	
1		3		12	スキャナよりスキャンされた画像を取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること	
1		3		13	デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなどを描画できること	
1		3		14	線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画ができること	
1		3		15	各受付番号へ画像割り当て枚数制限なく取り込みができること	
1		4	切り出し入力（組織診及び剖検）	1	切り出し指示情報の登録及び変更ができること	
1		4		2	採取部位を選択して切り出しブロック数、ラベル枚数の登録及び変更ができること	
1		4		3	ラベル印字する番号・記号（採取部位毎）について ・テンプレート入力できること。例、マイナス（-）、アルファベット、リンパ節番号の入力ができること。 ・フリー入力ができること。（日本語入力ができること） ・枝番号（1-1 など）を開始番号と必要な枚数を入力することで自動展開ができること	
1		4		4	採取部位の登録及び変更ができること。また、採取部位毎に特殊染色名を設定でき自動展開ができること	
1		4		5	切り出し日の指定ができること	
1		4		6	検体残状況、進捗状況、切り出し時のコメント入力ができること	
1		4		7	採取部位の画像取り込みができること	
1		4		8	スキャナよりスキャンされた画像を取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること	

大項目		中項目		小項目	回答
1		4		9 デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み、入力している受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなど描画ができること	
1		4		10 線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画ができること	
1		4		11 各受付番号へ画像割り当て枚数制限なく取り込みができること	
1		5	ラベル出力	1 指定された切り出し日または受付番号範囲での印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷ができること フリー入力も印刷できること	
1		5		2 印刷されたH Eラベルの出力管理ができること	
1		5		3 印刷された特殊染色ラベルの出力管理ができること	
1		5		4 スライドガラスに貼付できる標本ラベルの印字及び出力ができること	
1		5		5 ラベル印字を行う際に用紙の開始位置指定ができること	
1		5		6 フリーイメージでの印刷ができること。イメージ作成時、受付情報を基にテンプレート作成ができること	
1		5		7 ラベル出力するための切出し指示情報またはラベル出力指示情報の登録及び変更ができること	
1		6	結果入力（組織診及び剖検）	1 スライドガラスまたはラベルに印字されたバーコードを読み取り、該当する受付情報表示ができること	
1		6		2 癌取り扱い規約及びリンパ節の定型入力ができること	
1		6		3 結果入力画面上で既往歴のリスト参照ができること。必要に応じて詳細な内容が表示できること	
1		6		4 診断及び所見入力を最大全角2000文字までフリー入力できること。また、定型文の引用ができること	
1		6		5 診断及び所見の定型文は診断医毎に部位別や共通カテゴリ管理ができること	
1		6		6 報告書の印刷ができること。電子カルテシステムまたはオーダーリングシステムと連携している場合は結果送信ができること	
1		6		7 仮診断、追加診断、報告訂正ができること。また、すべての状態（仮診断、追加診断、報告訂正など）において診断入力した内容の保存ができること	
1		6		8 特殊染色指示ができること	
1		6		9 デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み依頼入力している受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなど描画ができること	
1		6		10 線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画ができること	
1		6		11 各受付番号へ画像割り当て枚数制限なく取り込みができること	
1		6		12 剖検の場合は、解剖種類／被検者情報／臓器重量などといった剖検に関する項目入力ができること	
1		7	結果入力（細胞診）	1 スライドガラスまたはラベルに印字されたバーコードを読み取り、該当する受付情報表示ができること	
1		7		2 結果入力画面上で既往歴のリストが参照でき、必要に応じて詳細な内容が表示できること	
1		7		3 診断及び所見入力を最大全角2000文字までフリー入力ができること。また、定型文の引用ができること	
1		7		4 診断及び所見の定型文は部位別や共通カテゴリで管理ができること	
1		7		5 細胞検査士の場合は検鏡枚数入力ができること。細胞検査士毎に検鏡枚数の集計ができること	
1		7		6 検体の適用及び不適用のチェックができること。不適用の場合は理由入力ができること	
1		7		7 細胞検査士毎に判定（クラス分類、ベセスダ、判定結果等）、判定区分（良性、悪性等）、出現細胞入力ができること	
1		7		8 結果が異常の場合には指導医からの判定（クラス分類、ベセスダ、判定結果等）、判定区分（良性、悪性等）、出現細胞入力ができること	
1		7		9 細胞検査士が結果入力している場合は、他の細胞検査士が入力した結果の閲覧ができること	
1		7		10 指導医が結果入力している場合は、全ての細胞検査士が入力した結果の閲覧ができること	
1		7		11 報告書の印刷ができること。電子カルテシステムまたはオーダーリングシステムと連携している場合は結果送信ができること	

大項目		中項目		小項目	回答
1		7		12 仮診断、追加診断、報告訂正ができること。また、すべての状態（仮診断、追加診断、報告訂正など）において診断入力した内容の保存ができること	
1		7		13 特殊染色指示ができること	
1		7		14 デジタルカメラなどで撮影した画像ファイルを取り込み依頼入力している受付番号へ割り当てることができること。また、割り当て後の画像ファイルへ線やテキストなど描画ができること	
1		7		15 線やテキストはテンプレート使用による画像ファイルへの描画ができること	
1		7		16 各受付番号へ画像割り当て枚数制限なく取り込みができること	
1		8	報告書出力	1 指定された受付日または受付番号範囲での印刷ができること。任意に選択された受付番号で印刷ができること	
1		8		2 最終報告書出力、強制出力、再出力の指定ができること	
1		8		3 電子カルテシステムまたはオーダリングシステムと連携している場合は結果送信ができること	
1		9	進捗管理	1 指定された受付日または受付番号範囲にある検体情報の進捗表示ができること	
1		10	既往歴検索	1 指定された患者番号の既往歴検索ができること。また患者カナ氏名で検索し患者の絞り込みができること	
1		10		2 一覧から選択された検体情報の詳細内容閲覧ができること	
1		11	症例検索	1 受付日の範囲を指定して任意の条件で検索ができること	
1		11		2 任意（複数可）の条件で検索ができること。（依頼元、診断医、検査項目、採取部位、採取法、種類、良悪、クラス、判定、診断コード、診断フリー、入外区分、総合所見、コメント、年齢 など）なお、項目選択はデフォルトで全項目ONもしくは全項目OFFの設定ができること	
1		11		3 検索結果より、さらなる絞り込み検索ができること。また、絞り込み検索を行う前の検索結果もワンクリック表示ができること	
1		11		4 検索された結果の一覧形式での表示または印刷ができること。また一覧から選択された検体情報の詳細内容閲覧ができること	
1		11		5 検索結果がCSV形式で出力ができること	
1		12	貸し出し管理	1 以下の項目を入力し標本の貸し出し管理ができること（依頼元、受付番号、患者番号、患者カナ氏名、患者漢字氏名、受付日、貸出日、返却予定日、貸出先、コメント）	
1		12		2 未返却標本の検索、貸し出し状況表示ができること	
1		12		3 貸し出した標本の返却入力ができること。 なお、返却入力時に貸出票は出力されないこと	
1		12		4 貸し出し票の印刷ができること	
1		13	統計出力	1 組織診依頼元別件数統計出力ができること	
1		13		2 組織診部位別件数統計出力ができること	
1		13		3 組織診検査項目別件数統計出力ができること	
1		13		4 組織診臓器数（材料）別件数統計出力ができること	
1		13		5 組織診特染項目別件数統計出力ができること	
1		13		6 細胞診依頼元別件数統計出力ができること	
1		13		7 細胞診部位別件数統計出力ができること	
1		13		8 細胞診検査項目別件数統計出力ができること	
1		13		9 細胞診クラス別件数統計出力ができること	
1		13		10 細胞診特染項目別件数統計出力ができること	
1		13		11 細胞診断による組織診断の追跡集計の基となる患者一覧出力ができること	
1		13		12 統計データはCSV形式で出力ができること	
1		13		13 組織診依頼元別、ブロック数表	
2	データ移行	1	データ移行	1 組織依頼情報、細胞診依頼情報、剖検依頼情報移行ができること	
2		1		2 組織診切出情報、剖検切出情報移行ができること	
2		1		3 組織染色情報、細胞診染色情報、剖検染色情報移行ができること	

大項目		中項目		小項目	回答
2		1		4 組織結果情報、細胞診結果情報、剖検結果情報移行ができること	
2		1		5 マスタ情報移行ができること	
2		1		6 画像データ及び画像ファイル移行ができること	
2		1		7 現システム以前の過去データが閲覧できること	
3	その他	1	その他	1 各種マスタは容易に画面から登録・修正・削除ができること	
3		1		2 保存されているデータのバックアップができること	
3		1		3 リモートでの保守ができること	